

2023年2月27日

報道機関 各位

### 「SDGs 応援リース」の契約及び寄付について

株式会社山形銀行（頭取 長谷川 吉茂）の100%子会社 山銀リース株式会社（社長 柿崎 正樹）は、株式会社平田牧場（社長 新田 嘉七）のSDGsの促進に資する設備導入において、「SDGs 応援リース」を下記のとおり契約いたしました。また、2023年3月8日、当社が拠出するリース料の一部と株式会社平田牧場が拠出する資金を合わせ、学校法人 天真林昌学園 酒田調理師専門学校に寄付することとなりましたのでお知らせします。

「SDGs 応援リース」はお客さま及び地域のSDGsを促進することを目的とする商品です。商品の特徴として、お客さま及び当社で選定したSDGsの促進に向けた取組みを行っている団体へリース契約額の0.2%相当額を寄付いたします。

当社はこうした取組みを通じて、お客さま及び地域社会のSDGsへの取組みを全力で支援してまいります。

### 記

契約企業名	株式会社平田牧場
代表者	新田 嘉七
所在地	山形県酒田市みずほ2丁目17-8
事業内容	畜肉(豚)生産・食肉加工・販売・外食・観光他
SDGs 促進に資する設備（総称）	畜糞発酵堆肥処理機 1式 スーパーハウス 1式
契約概要	契約日 2022年8月25日 物件価格 60百万円 リース期間 7年 契約日 2022年9月28日 物件価格 4百万円 リース期間 7年
企業の特徴・SDGs 促進に向けた取組み等	詳細は別紙1参照
寄付	寄付先 学校法人天真林昌学園 酒田調理師専門学校 寄付金 現金 137千円
対応するSDGs	<物件によるSDGs 促進>     

<寄付による SDGs 促進>



以上

本件に関するお問い合わせ先  
山銀リース株式会社 本社営業部  
山川 (政)・加藤 (敦)  
TEL 023-632-4983

## 1. 企業概要

- (1) 企業名：株式会社平田牧場
- (2) 代表者：新田 嘉七
- (3) 所在地：〒998-0853 山形県酒田市みずほ 2 丁目 1 7 - 8
- (4) 資本金：100 百万円
- (5) 設立：1967 年(昭和 42 年)2 月 15 日
- (6) 従業員：約 600 名
- (7) 主要品目：畜肉(豚)生産・食肉加工・販売・外食・観光他

## 2. 「SDGs 応援リース」契約内容

### (1) SDGs 促進に資する設備

#### ①畜糞発酵堆肥処理機 1 式

豚の糞を原料に、焼却処理に頼らず微生物の自然な力で発酵させ、良質の有機質肥料へ変える堆肥処理機。投入時間、取出時間以外は無人運転のため、畜糞処理に費やす時間の大幅な短縮が期待できる。また、脱臭対策がしやすい構造となっており環境保全に配慮した資源のリサイクルを目指しつつ、近隣地域や堆肥処理にあたる従業員にも配慮した取り組みのひとつとして導入。

【業務効率化】【生産性向上】【環境保護】

#### ②スーパーハウス 1 式

飼料用米を軸とした資源循環、水やエネルギーの循環、環境保全、食料安全保障への貢献事業を SDGs の基本に設定している。さらに、飼料の国産比率アップなどを研究・推進し、食料安全保障や CO2 の排出削減等の他、様々な研究開発に取り組んでいるが、その生産本部研究開発室の拠点として本物件を設置。

【環境保護】【生産性向上】

#### ③契約日：2022 年 8 月 25 日(堆肥処理機)、2022 年 9 月 28 日(スーパーハウス)

#### ④物件価格：2 件計 64 百万円

#### ⑤契約期間：7 年

### (2) 寄付： 寄付先 学校法人天真林昌学園 酒田調理師専門学校(理事長 齋藤 善明)

寄付金贈呈式： 2023 年 3 月 8 日(水)

寄付金： 137 千円

(山銀リース株式会社、株式会社平田牧場の連名)

### (3) 設備投資による SDGs 促進

No.7 「エネルギーをみんなに。そしてクリーンに」

No.8 「働きがいも経済成長も」

No.9 「産業と技術革新の基盤をつくろう」

No.12 「つくる責任 つかう責任」

No.13 「気候変動に具体的な対策を」

(4) 寄付による SDGs 促進

No.1 「貧困をなくそう」

No.2 「飢餓をゼロに」

No.3 「すべての人に健康と福祉を」

No.4 「質の高い教育をみんなに」

No.5 「ジェンダー平等を実現しよう」

No.6 「安全な水とトイレを世界中に」

No.7 「エネルギーをみんなに。そしてクリーンに」

No.8 「働きがいも経済成長も」

No.9 「産業と技術革新の基盤をつくろう」

No.10 「人や国の不平等をなくそう」

No.11 「住み続けられるまちづくり」

No.12 「つくる責任 つかう責任」

No.13 「気候変動に具体的な対策」

No.14 「海の豊かさを守ろう」

No.15 「陸の豊かさを守ろう」

No.16 「平和と公正をすべての人に」

No.17 「パートナーシップで目標を達成しよう」

3. SDGs への取組内容

(1) 平田牧場では、長年取り組んでいる食料自給力向上と食味 UP を同時に実現する「飼料用米プロジェクト」を中心に、子供たちの未来と、持続可能な社会の実現に向け、昔ながらの畜・農が連携する自然な方法で農地の保全と資源の循環を推し進めている。

(2) ～地域とともに健康な豚を育てる～

- ・半世紀を超える「おいしい豚」のための環境作り
- ・地域全体での資源循環で、食糧自給を生み出すしくみ作り
- ・お客さまや地域環境との共創による持続可能性への取り組み

(3) 持続可能な社会の実現に向けた取り組み

- ・減反田、休耕田を活用した、適地適作である米の飼料給餌
- ・飼料用米を介した日本の農業や水田文化・環境保護と、食料安全保障の確保
- ・健康に育った豚の糞を肥料として土地へ還元
- ・同一地域内で飼料用米を作ることによる、他国の食料や水を奪わない資源循環
- ・再生エネルギーを積極活用した工場稼働

平牧アクション ～健康な豚はおいしい～ <https://youtu.be/Sb3yetyaZiM>

#### 4. 寄付先(酒田調理師専門学校)のSDGsへの取組内容

##### (1)昭和46年(1971)年創立、山形県で最も歴史ある調理師養成施設。

創立52年、これまでに三千数百名の有能な卒業生を輩出。

庄内地方の飲食業界を牽引するオーナーシェフや料理長の大多数が卒業生であり、病院・福祉施設等の給食や学校給食等の現場でも多くの卒業生が活躍。

食に関わる仕事に従事している卒業生は、国民の食生活の一部を担い健康を支えている。

##### (2)社団法人全国調理師養成施設協会より食育推進校として認定を受けている。

食育料理教室をはじめ多くの食育活動に取り組み中。

令和元年度より、月一回程度実施している酒調こども食堂(地域食堂)には、子どもだけでなく家族連れや高齢者の方など、幅広い年齢層が利用。

野菜や米などを提供してくださる企業・個人、ボランティアスタッフへの感謝の気持ちを持つことで、地域食堂に関わる学生への教育的効果も大。

##### (3)年に一度、飛鳥ボランティアとしてクリーン活動を実施。

海岸に広がる海洋ごみのクリーンアップなどを通じ、海の生き物や海の環境を考える好機とし、魚の育つ環境にも目を向け、食の地産地消や旬を取り入れた食の学びを継続中。

食育についての取り組みは、SDGsと食育が密接にかかわっており、SDGsに掲げられている17の項目はすべて食育の視点でも関連している。

#### I.食のすべてに安心と安全

##### No.1 「貧困をなくそう」

⇒開発途上国だけでなく身近な貧困にも救いの手を

##### No.2 「飢餓をゼロに」

⇒食料の安全確保と栄養状態の改善を

##### No.3 「すべての人に健康と福祉を」

⇒身体と精神の両面で健康になれる食づくりを

##### No.6 「安全な水とトイレを世界中に」

⇒身近な水について知り日頃から大事にしよう

#### II.平等を生活と仕事に

##### No.5 「ジェンダー平等を実現しよう」

⇒みんなで食卓を囲もう

##### No.8 「働きがいも経済成長も」

⇒スポイルのない食産業で経済成長を支える

##### No.10 「人や国の不平等をなくそう」

⇒選食や共食で、国も地域も宗教もこえて平等をつくる

No.16 「平和と公正をすべての人に」

⇒社会的に弱い立場の人に希望と可能性を

No.17 「パートナーシップで目標を達成しよう」

⇒あらゆる人たちが協力するパートナーシップの充実

### III.教育と知恵を優しい経済に

No.4 「質の高い教育をみんなに」

⇒食育の充実でSDGsを実現

No.7 「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」

⇒つくる、選ぶ、使うまでエネルギーをきちんと意識

No.9 「産業と技術革新の基盤をつくろう」

⇒サーキュラーエコノミー

No.11 「住み続けられるまちづくりを」

⇒災害に強い支え合いのまち

### IV.自然と調和する食生産

No.12 「つくる責任つかう責任」

⇒持続可能な生産と循環を意識した資源利用

No.13 「気候変動に具体的な対策を」

⇒温暖化に配慮した生産

No.14 「海の豊かさを守ろう」

⇒海洋資源を守る漁業・養殖 海洋汚染をふせぐ暮らし

No.15 「陸の豊かさを守ろう」

⇒森林や土壌を守る生産

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



以上

## 寄付金贈呈式

1. 日時：2023年3月8日（水） 10：00～ 30分程度
2. 場所：学校法人天真林昌学園 酒田調理師専門学校
3. 出席者：株式会社平田牧場 専務執行役 茂木 陽一(モキ ヨウイチ) 様  
                  同上 顧問 白崎 好行(シラサキ ヨシユキ) 様  
                  学校法人天真林昌学園 理事長 齋藤 善明(サイトウ ヨシアキ)様  
                  酒田調理師専門学校 校長 土門 陽吉(ドモン ヨウキチ)様  
                  同上 教頭 佐藤 祥子(サトウ サチコ)様  
                  山銀リース株式会社 代表取締役 柿崎 正樹(カキザキ マサキ)  
                  同上 庄内営業部 部長 山口 浩典(ヤマグチ ヒロノリ)  
                  同上 庄内営業部 部長代理 仲條 真(ナカジョウ シン)
4. 寄付金：現金(金 137 千円)  
    ※ 当日は目録手交とさせていただきます
5. その他：報道機関各位には、是非取材いただけますようお願い申し上げます。

以上